

社会資本総合整備計画 事前評価調書

計 画 の 概 要	計画の分野	地域住宅支援
	計画の名称	富山市における住環境整備とにぎわい拠点の創出(第2期 富山地域住宅計画)
	交付対象	富山市
	計画期間	平成22年度～平成26年度(5年間)
	計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子供から高齢者、障害者まですべての人が安心して快適・安全に暮らことができる住環境を整備する。 ・まちづくりと連動した地域の活性化に寄与する住環境を整備する。 ・定住意識が高い「選ばれる都市」となる住環境を整備する。 ・市街地再開発を行うことにより、土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図る。 ・中心市街地の環境の整備を行うことにより、まちなか居住の推進と賑わい拠点を創出し、中心市街地の活性化を図る。
	定量的指標 (目標値)	<ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅の建替等を推進し、老朽化公営住宅の割合の現状維持を目指す。【19.9% (H22当初)→18.0% (H26末)】 ・公営住宅におけるバリアフリー化住宅の割合を上げる。【32.6% (H22当初)→37.4% (H26末)】 ・まちづくりと連動した(居住推進地区内の)公営住宅の割合を上げる。【48.6% (H22当初)→49.7% (H26末)】 ・富山市民意識調査における「今後も富山市に住み続けたいか」の項目で、「ずっと住み続けたい」「できるなら住み続けたい」との回答の割合を上げる。【84.8% (H22調査)→85.3% (H26末)】 ・中心商店街地区の歩行者通行量(日曜日)の現状維持を目指す。【69,060人(H22当初)→60,060人(H26末)】 ・都心地区居住人口の現状維持を目指す。【23,671人(H22当初)→23,671人(H26末)】
	対象事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住宅計画に基づく事業 ・住環境整備事業
全体事業費	17,330百万円	

項 目	評 価 細 目	評 価	説 明 欄
目 標 の 妥 当 性	1 関連する上位計画等との整合性が図られているか	○	富山市総合計画に位置付けられた内容と整合がとれている
	2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	富山市総合計画の目標と整合がとれている
計 画 の 効 果 ・ 効 率 性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されているか	○	整備計画の目標を定量的に図ることができる指標を設定している
	2 定量的指標が分かりやすいものとなっているか	○	毎年の統計データや定期的を実施している調査結果を基にした指標であり、中間・事後評価時に検証可能かつ適切な指標となっている
	3 目標と事業内容の整合性が確保されているか	○	目標達成に必要な事業を要素事業として位置付けており、整合性を確保している
	4 中間評価・事後評価時に検証可能な適切な指標となっているか	○	毎年の統計データや定期的を実施している調査結果を基にした指標であり、中間・事後評価時に検証可能かつ適切な指標となっている
	5 十分な事業効果が得られる計画となっているか	○	目標達成に必要な事業を要素事業として位置付けており、事業効果が得られる計画となっている
計 画 の 実 現 可 能 性	1 計画の熟度が高く、円滑な事業執行の環境が整っているか	○	目標達成に必要な事業を位置付けており、計画の熟度および円滑な事業執行環境は整っている
	2 地元の機運が醸成されているか	○	地元からの要望が強い事業も多く含まれていることから、地元との合意形成など実現に向けて機運が醸成されている
評 価 結 果	<p style="text-align: center;">○ 評価Ⅰ 事業を実施</p> <p style="text-align: center;">○ 評価Ⅱ 計画の見直し</p>		<p>【評価基準】</p> <p>「評価Ⅰ」は、全項目に○印が付いているもの</p> <p>「評価Ⅱ」は、1項目でも×が付いているもの</p>